

第 13 回 バスティン教材研究会

日程	2012 年 2 月 25 日 (水) 10 : 30 ~ 12 : 00 (エルム楽器千歳)
出席者	杉山・西野・伊藤(美)・石山・廣重・伊藤(亜)・大和・石井・長谷 以上 9 名
議題(テーマ)	『レッスンチェックシートについて』
レッスンダイアリー の活用 (杉山 T)	<p>レッスンダイアリーの活用</p> <p>毎日のチェック項目があり、その日練習した時間を記入(しなかった日はゼロ)</p> <p>生徒が自分でどのくらい練習出来たかチェックできるので、責任がうまれ、練習をしてくるようになった。</p> <p>小さい生徒さんには「お母さんへの宿題」の項目を作り、自宅での練習に協力してもらう。</p>
レッスンチェック シートの作成 (チームごと) 各チームの意見	<p>恵庭チーム・・・杉山、石井、渡辺、伊藤真美、(長谷)</p> <p>杉山 T ~ 手引きでもわからないことが事細かにガイドブックに載っているので、参考にしながら、教材の内容、ねらい、指導ポイント、どのページに掲載されているか、出来た日、対策をチェックできるようにした。</p> <p>これを踏まえた、指導案を作成しレッスンで活用する。</p> <p>石井 T ~ 教材の活用方法が分からなかったなので、ガイドブックをみて、何がねらいなのかを勉強した。</p> <p>指導案の作成により、効果的に無駄の無いレッスンができるようになるのではないかと思った。</p> <p>美どりチーム・・・伊藤美どり、石山、廣重</p> <p>伊藤美 T ~ 保護者と一緒にチェックしてもらいたい(現在どのような曲を練習しているか)</p> <p>石山 T ~ 自宅での練習をしているかのチェック項目を増やしたい</p> <p>廣重 T ~ 空欄の項目もたして、細かくチェックしてもよいのでは</p> <p style="padding-left: 40px;">※高い音が分かる・・・というもどの場所までわかるか細かいところがわかれば良いのでは？</p> <p>正美チーム・・・西野、伊藤亜美、大和</p> <p>西野 T ~ Aの中から、項目を抜き出し、それぞれどこがわかっているかチェックした</p> <p>大和 T ~ バスティン教材を使用していない生徒に対して、初歩的なことから確認することによって、レベルがわかり、やるべきことがすっきりまとまる。</p> <p>亜美 T ~ チェック項目にあった教材のページをまた</p>
レッスンチェック シートをどの	<p>・ バスティン教材に移行させたい生徒、またはバスティン教材もレッスンに一部取り入れたい生徒に対してのチェックシート</p>

<p>ようにまとめていくか(案)</p>	<p>→生徒の状況把握のために使用し、弱点を見つけて、克服する為にどのバスティン教材部分を使用して弱点を克服させる。</p> <p>→項目の分け方をレベルわけして、シートをレベルごとに作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスティン教材を使用している生徒に対してのチェックシート <p>※ それぞれ分けて活用していけばよいのでは？</p> <p>※ チェックシートとリンクさせるためにも、ガイドブックのよみ合わせをする</p>
<p>おすすめの参考文献 (杉山T)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット「いろはにクラシック」(クラシックの歴史) ・ ネット「日本の音楽史」で検索してヒットした年表を参照
<p>バスティン先生の講義DVD</p>	<p>昨年 10 月 25 日に開催されたバスティン先生の講義を録画したDVDを改めて次回鑑賞予定</p>
<p>次回研究内容</p>	<p>ガイドブックのよみ合わせをし、それぞれのページのねらいを考える</p>